

点検項目表

項目No.	点検項目	点検
		年 1 回
1	血液培養自動分析装置 バクテアード3D 120型	
1.1	動作点検、クリーニング及び調整・テストの実施	
1.1.1	全般	
1.1.1.1	<p>トラブル履歴の確認 エラー履歴_____</p> <p>使用不可レポート_____</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コントローラモジュールに保管されている過去のエラーログを確認 (オペレーターに対しての口答確認) ・「7.0 Instrument Cntrl」→「7.5 View files」 	
1.1.1.2	<p>各種清掃除菌他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各モジュールの外装ならびに周辺の清掃 ・スクリューの緩みをチェックし増し締めする 	
1.1.1.3	<p>電源ケーブル接続配線確認、入力電圧確認</p> <p>極性_____ AC電圧_____V</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設AC電圧をテスターで極性を極性チェッカーで確認 ・各モジュールに適したAC電圧が供給されるように電源ケーブルを配線する ・ニュートラルとグラウンド極性間の電位差が0.5V以下であることを確認する 	
1.1.2	接続PC、構成品	
1.1.2.1	<p>プリンタモジュール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンタセルフテストを実施 ・インク状態、ヘッド左右動作、印字ドット抜け、紙送り、印字位置等の確認 	
1.1.2.2	<p>外部接続 無停電電源装置 (UPS)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・UPS正面にインジケータで警告が発生していないか確認 ・必要に応じ、内部バッテリーを交換 ・セルフテストを実行し、警告の発生ならびにUPSに異常が発生しないかを確認する ・停電テストを行い、バースト機能が稼動することを確認する 	
1.1.3	BTA3Dインキュベータモジュール/BTA3Dコンビネーションモジュール	
1.1.3.1	<p>各種清掃除菌他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モジュール内部、各種部品を清掃 (INCUBATOR-FAN, HEATER, リックアッセンブリー、各ドロー内部、各セル光源部及びQCフラグ) 	
1.1.3.2	<p>各種部品確認</p> <p>交換部品：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種NEW-PARTSを必要に応じて実施 ・INCUBATOR-FANの風量、異音を確認交換 ・HEATER-ASSYの動作確認 (温風) ・シェイクアップ関連部品劣化確認交換 (リックアッセンブリーのベアリング・アジテーションアーム・モーター・ベルト他) 	
1.1.3.3	<p>モジュール電圧調整</p> <p>+5VDC= _____(5.2VDC±0.05)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・+5VDC出力確認調整(F2-TP19 CNTRL-PCB F1) (必要に応じてパワーサプライのボリュームで調整) 	
1.1.3.4	<p>温度校正機能確認</p> <p>設定温度: _____°C パネル表示値: _____°C 温度計表示値: _____°C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローを30分以上閉めた状態にして、IM内部温度を安定させる ・内部温度計とパネル表示値を比較確認 (パネル表示値と温度計表示値の差: ±0.5°C) ・必要に応じて温度キャリブレーションを実施 ・実施後2時間温度安定待ちを行った上、再度内部温度計とパネル表示値を比較確認する 	
1.1.3.5	<p>ドローラッチ取付け・位置確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ドローラッチの取付けを確認 ・必要に応じ取付けの増し締めを行う ・専用ツールを用い、ドローラッチの取付け位置を調整する ・ドローの開閉を確認し、閉時にドローが固定される事を確認 	

点検項目表

項目No.	点検項目	点検
		年 1 回
1.1.3.6	ドローセンサー動作確認 ・ドローが抵抗無くスムーズに開閉する事を確認 ・デリアユニット装置の各ドロードアを開放し、インジケータライト-イエローが点灯する事を確認 ・2分以上開放し続け、ERROR#20が発生しインジケータライト-イエローがフラッシュする事を確認 ・ボトルロード時にボトルタイプに適応した使用可能ドローのインジケータライト-グリーンが点灯する事を確認	
1.1.3.7	振とう動作確認 ・シェイクセンサー位置確認、マグネット清掃位置確認 ・シェイク時に各箇所にも異音が無い事を確認 ・ドローを閉めた後に、ERROR#21(BC)及びERROR#22(MB)が発生しない事を確認	
1.1.3.8	ラックアセンブリー機能確認 校正：Flag Check:1.5%以上のセル ・ダイアグノスティクス画面（12123434）へログイン ・各々のインキュベーターモジュール「例:1.0 Inc Module」を選択 ・「1.7 Flag Check」にてセル状態を確認 ・1.5%以上のセルに対しキャリブレーションを実行する（Cボタンを押す） ・キャリブレーション中に温度エラーが発生した場合は、直ちにキャリブレーションの実行を停止し、ドローを閉じたあと最低30分以上温度安定待ちを行う ・温度が安定した事が確認できた後、キャリブレーションを再開する	
1.1.4	最終データ確認	
1.1.4.1	・全てのモジュールを接続再起動、ダイアグテストをパスレポートが正常に完了する事を確認 ・テストボルトを挿入しコンピュータのソフトウェアの動作とデリアユニット間コミュニケーションが正常である事を確認 ・分析中のボトルデータ(反射率の値)が10分毎に更新されている事を確認	